
分科会1

「平時からのボランティア活動」

話題提供資料

横浜栄・防災ボランティアネットワークの取り組み

横浜栄・防災ボランティアネットワーク
大森真由美・千葉ひろみ

1. 横浜栄・防災ボランティアネットワーク誕生の経緯

台風22号（平成16年10月9日）

2. 設立・会員構成

設立：平成18年10月16日

会員：個人40名 団体35

3. 組織

運営委員会 定例会 分科会

4. 活動内容

5. 定例会・総会での勉強会・講演会

6. 要援護者支援活動（要援護者分科会）

7. 出前防災講座（防災力分科会）

8. 防災教材「わが子を災害から守るために」の制作・発行（防災力分科会）



横浜栄・防災ボランティアネットワーク

〈活動紹介〉

誕生の経緯

平成16年10月9日 台風22号の大雨が柏尾川を氾濫させ、笠間地区、長尾台町、飯島町を中心に床上浸水133世帯、被災者771人の被害を出した。

栄区役所、栄区社会福祉協議会の呼びかけに応じ、栄区内のボランティア団体から30名余が参集、被災現場で救援活動を行った。

この災害がきっかけで、ボランティア連絡会を中心に災害時のボランティア・ネットワークを作る活動を始めたのが発端となった。



(映像・写真提供：栄土木事務所など)



設立・会員構成

設立:平成18年10月16日

横浜市で8番目に誕生した災害ボランティアネットワーク

会員構成

個人:40人

団体=35団体



- ・地域ケアプラザなど 福祉施設
- ・福祉支援グループ
- ・要援護者当事者団体
- ・自治会・町内会 など

(平成21年12月末現在)

組織

横浜栄・防災ボランティアネットワーク
総会 (年1回)

運営委員会 (月1回)

定例会 (月1回)

ボラセン分科会

災害ボランティアセンター
開設・運営に関する勉強
会及び訓練企画

防災力分科会

平常時における会員及
び地域の防災意識向上
に関する支援

要援護者分科会

平常時からの要援護者
支援に関する啓蒙と支
援活動

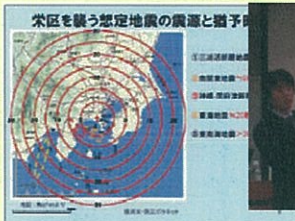
活動内容

1. 栄区災害ボランティアセンターの開設・運営訓練(年2回)
2. 会員の勉強会・講演会(定例会・総会時)・・・地域へ公開
3. 要援護者当事者や支援者(会員団体)と交流し、災害時の支援について話し合う。開設訓練やイベントにボランティアとして参加してもらう。・・・要援護者分科会
4. 地域や団体への出前防災講座の開催や防災教材の企画制作(防災意識向上と顔の見える関係作り)・・・防災力分科会
5. 近隣の災害ボランティアネットワークとの交流
6. 横浜ネットワーク会議・運営委員会への参加

定例会・総会での勉強会・講演会

総会・定例会の二部として、災害・防災について学習し、意識や知識を高め、会員相互の連携を強めている

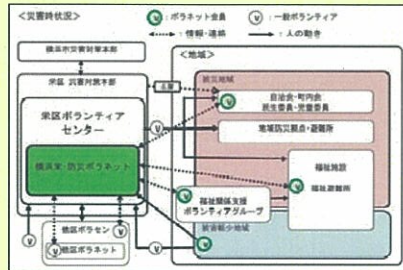
地域にも公開して顔の見える関係作りも行っている



要援護者支援活動（要援護者分科会）

災害時に、要援護者が置かれる状態・環境を理解して、要援護者自身の防災力向上のための情報や支援者のための防災情報の提供を行う

障害者会員も、災害ボランティアセンター開設訓練やイベントでボランティアとして参加



栄区民まつり

出前防災講座（防災力分科会） 1

- ・「命を守ることを第一に考えた基本対策として、家屋倒壊防止と家具の転倒防止の必要性を伝える
- ・「自分たちのまちは自分たちで守る」ための地域の「きずな作り」の大切さを訴える

電気紙芝居(パワーポイント)「命を守る防災講座」

- * 福祉施設・要援護者編
災害時の要援護者の環境(状況)をイメージし、平常時からどう備えるか
- * 自治会・町内会編
地域の防災力がいかに重要か、どう高めるか
- * パパ・ママ編
乳幼児の目線で配慮した日常の防災とご近所関係の大切さ
- * 中高生編
地域の歴史と地勢を交えて防災意識を伝える

電気紙芝居を中心に「クロスロードゲーム」「防災クイズ」「防災ダック」「防災交流会」「非常用炊出袋で作る非常食の調理・試食」などを組み合わせて行う

出前防災講座（防災力分科会） 2

これまでの講座開催数

平成19年度…11回
平成20年度…21回
平成21年度…13回



乳幼児とともに「防災タック」



交流会



電気紙芝居「命を守る防災講座」



非常用炊出袋で
防災ケーキ作り



地域の皆さんと
クロスロード

防災教材の制作・発行（防災力分科会）

乳幼児のパパママ向け防災教材
「わが子を災害から守るために」
2009年3月刊行（A4・24P 3,500部）

横浜市の男女共同参画推進協会 が募集した
啓発教材づくりに応募し助成を受けることに

若いパパママが乳幼児を災害から守り、災害
を乗り越えるために 必要な知識・準備・心構え
などを具体的に解説した冊子

横浜市全区役所に100部ずつ贈呈。社会福祉
協議会、公立保育園、子育て支援者などに

その他、防災講座参加者に教材として配布



美馬市社会福祉協議会の取り組み

徳島県 美馬市社会福祉協議会
佐 和 良 佳

1. 「災害時要配慮者対策に伴う自主防災組織立ち上げ事業」に取り組むことになった経緯

- ・事業目標

「災害時における自主防災組織の確立からつなぐ小地域でのささえあいシステムづくり」

2. 事業内容

- ・どのように進めてきたか

- ・社協が進める目的は

- ・工夫している点

- ・社協の役割

3. 今後の課題



【美馬市の概要】

美馬市は、2005（平成17）年3月1日に旧美馬郡内の美馬町、脇町、穴吹町、木屋平村が合併してできた、豊かな自然と数多くの文化財が残る歴史情緒あふれるまちです。徳島県の西部（県都徳島市から約40km）に位置しています。



市のほぼ中央を東西に四国三郎「吉野川」が流れ、穴吹川など幾多の川が吉野川に流れ込み、その沿岸の平野部が主な可住地となっています。北側の阿讃山脈、南側の剣山をはじめ、ほとんどが山地で、総面積の約8割が森林となっており、清らかな水と豊かな緑に囲まれた自然の美しい地域です。

美馬市の総面積は、367.38km²で、これは徳島県全体（4,145.69km²）の約8.9%にあたります。このうち可住地が76.22km²で、総面積の約20.7%を占めています。

◇美馬市の人口	平成21年11月1日現在	合併当時（平成17年3月1日現在）	
・人口	33,391人	35,295人	△1,904人
・男	15,970人	16,886人	△916人
・女	17,421人	18,409人	△988人
・世帯数	12,903戸（1世帯≒2.6人）	12,555世帯	+348世帯
・高齢化率	30.58%	28.42%	+2.16%
・寝たきり高齢者	69人（65歳、6ヶ月以上）		
・ひとり暮らし高齢者	656人（77歳以上）		
・高齢者世帯	298世帯（77歳以上）		
・介護保険認定者数	2,444人		
介護保険サービス利用件数	41,835件	介護保険料	4,500円
・身体障害者手帳所持者	2,450人（会員数1,001人、加入率40.85%）		
・療育手帳所持者	306人（会員数140人、加入率45.75%）		
・精神障害者手帳所持者	135人		
・老人クラブ会員数	3,963人（65歳以上人口10,189人、加入率38.89%）		
・民生委員・児童委員	115人		
・自治会数	334自治会（少1戸～多210戸）（限界集落81自治会）		
・自治会長＝福祉委員として社会福祉協議会会長委嘱			
・ボランティア市民活動センター			
ボランティア登録数	304団体	4,962人	個人150人 計5,112人
・ふれあいいきいきサロン	141カ所		
・小地域ネットワーク活動	141カ所		
・子育てサロン	4カ所		
・自主防災組織率	96.41%		

美馬市社会福祉協議会の概要

(平成21年11月1日現在)

住 所	徳島県美馬市脇町大字脇町1303-3		広報活動	・社協だよりの発行 年3回		
	TEL (0883)53-7432 FAX (0883)53-6475		在宅支援事業	・日常生活自立支援事業(基幹型) 契約件数 30件 ・生活福祉資金貸付事業 ・ニーズ調査事業 ・福祉講座		
面 積	367.38km		総合相談所事業	・一般相談 市内3ヶ所で開催 各地区 毎週1回 ふれあい福祉総合相談員 ・専門相談 結婚相談 第3木曜日 弁護士相談 第3水曜日 司法書士相談 第1水曜日		
組 織	本所 施設 { おちあい荘、池月苑 ライフケアたがた つるぎの里 }			地域福祉活動 計画推進状況	・平成18年度 市地域福祉計画策定・平成18~19年度 市社協地域福祉活動計画策定(5カ年計画)・実行委員会において活動計画実行中	
人 口 等	総人口数 33,391人 総世帯数 12,903世帯 高齢化率 30.58%		福祉委員	334名		
法 人 登 記	平成17年3月1日		民生児童委員	115名(主任児童委員含む)		
会 長	尾方 巧		ふれあいサロン数	141ヶ所 各サロン月1回程度開催		
事 務 局 長	(法人)佐和良佳・(在宅サービス事業)藤園益也		小地域ネットワーク事業	141ヶ所 各ネット月2回程度見守り活動		
役 員 構 成	選出区分	役員	評議員	子育てサロン数	4ヶ所 各支所月1回開催 みまっこフェスティバルの開催	
	行政機関	2	1	ボランティア関係	・ボランティアセンターの設置 本所 ・ボランティア登録数 個人 150人 グループ 304団体 4,962人 ・美馬市民 ふくしフェスティバルの開催 ・ボランティア養成講座 ・防災ボランティア研修会 ・ティーンズボランティア育成	
	議会代表者	1	1			
	教育関係団体	1	3			
	民生児童委員関係	1	4			
	住民組織代表者	4	6			
	福祉関係団体	0	2			
	福祉施設設職員	1	2			
	経済労働関連団体	1	1			
	ボランティア関係	1	7			
学識経験者関係	3	4	指定管理者制度		・デイサービス ・生活支援ハウス運営事業 おちあい荘 ・デイサービス 池月苑 ・デイサービス ・生活支援ハウス運営事業 たがた ・デイサービス ・生活支援ハウス運営事業 つるぎの里	
会 員 制 度	1世帯当たり 500円		委託事業	・生活予防事業 ・地域自立生活支援事業 ・生きがい活動支援通所介護事業 ・配食サービス事業 ・居宅介護支援(地域型) ・介護予防(ケアプラン)事業 ・ふれあい子育てサロン等支援事業 ・地域生活支援事業 ・特定高齢者事業 ・福祉サービス利用支援事業 ・徳島県シルバー大学校美馬校管理運営事業 ・美馬ファミリーサポートセンター事業		
共 同 募 金	1世帯当たり 500円			団体事務	・美馬市・各支部老人クラブ連合会 ・美馬市・各支部身体障害者連合会 ・美馬市・各支部手をつなぐ育成会 ・美馬市・各地区母子寡婦福祉連合会 ・美馬市・各地区遺族会	
歳末たすけあい募金	1世帯当たり 500円				平成21年度予算	一般会計 440,180,000円
日 赤 社 費	1世帯当たり 500円					
基 本 金	4,000,000円					
介 護 保 険 事 業	おちあい荘 池月苑 ライフケアたがた つるぎの里	・通所介護 ・介護予防通所介護 ・生活支援ハウス ・地域自立生活支援 ・地域支援 ・在宅介護支援センター				
	美馬市社協 ケアプランセンター	・居宅介護支援 ・要介護認定調査				
	脇町ホームヘルパー ステーション	・訪問介護 ・介護予防訪問介護 ・障害者児自立支援事業 ・軽度生活支援事業				

☆災害図（頭）上訓練（DIG）☆

防災マップ（自分の地域を知ってもらう。災害時役立ててもらう。また、台帳の役割）

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. 自治会の境界線
∞ アイスブレイクの役割 | 太いマジックの紫 |
| 2. 自治会長（会長）
∞ リーダーの確認 | 青色シール |
| 3. 自主防災会員（協力員）
∞マンパワーの活用 | 緑色シール |
| 4. 要配慮者
∞ 65歳以上の一人暮らし・高齢者世帯・体の不自由な人・寝たきりの方
（その時、妊婦・小さい子ども・ケガをしている人） | 赤色シール |
| 5. ボランティア関係者（災害時活動ができる人）
∞（中学生～40歳以下）歳にはこだわらないこと。
40歳以上でもよいが自分の | 黄色シール
他に家族に助けられる人がいること。 |
| 6. 医療関係者（看護師等、元でもよい）
∞ 応急手当をお願いできる人 | ピンクシール |
| 7. 防火水槽 | 青色マジックで◆ |
| 8. 消火栓
∞ 意外と知らない場合が多い | 青色マジックで◇ |
| 9. 消火ホース
∞ 本当に使えるものか | オレンジシール |
| 10. 公衆電話
∞ 携帯は輻湊が起こるためかかりにくい。情報伝言ダイヤル171の活用方法の
説明。 | 紫マジックで◆ |
| 11. 重機（建設機械等が常にある）
∞ ユンボ・ユニック・フォークリフトなど大型のもの。発電機等の防災資機
材の地域での調達可能台帳も必要。 | 茶色シール |
| 12. 井戸
∞ 使っていなくても、飲めても飲めなくてもOK。モーター式はだめ。 | 水色シール |
| 13. 病院（HP）
∞ 病院としての役割があるため、地域の中にあっても地域だけのものではな
い。但し薬品は使える。 | ピンクのマジックで□ |

- | | |
|--|-------------|
| 14. 一時避難場所 | ピンクで□ |
| ∞ 話し合いの上で決める。 | |
| 広域避難場所(行政の指定場所) | ピンクで□ |
| ∞ 小・中学校が指定されている。 | |
| 15. 避難経路(安全に避難できる道路) | 黒のマジック |
| ∞ 安全かどうかを確認する。 | |
| 16. 車両通行不可(2t車クラスが通れない道路) | 赤の細いマジック |
| ∞ 救急車が入れない。 | |
| 17. 谷川・河川 | 緑色のマジック |
| ∞ 台風時氾濫する。 | |
| 18. 危険箇所 | 黄緑色のマジック網掛け |
| ∞ 川等を埋め立てたなど、軟弱な地盤。以前災害が発生した場所。
浸水が予想される場所。
危険箇所が大半の場合は安全な場所も把握する。 | |
| 19. アマチュア無線 | ア あか |
| ∞ 無線等の防災に役立つものもチェックする。 | |
| 20. 空き家 | レ くら |
| ∞ 確認で防犯にも役立てる。 | |

最後に地域の特性は話しておいてください。(高齢者の比率、危険度合い等)

◎DIG準備物

- | | |
|---------------|--------------------------|
| *住宅地図(ゼンリン) | 基本A3の大きさに氏名の入っている地図を |
| | 90センチ幅120~150センチ長さ位に拡大する |
| *透明シート120cm幅 | 薄めのものを余分に40センチプラスし、必要な |
| | グループ数 |
| *布ガムテープ | 机に固定用 |
| *スコッチテープ | 地図と透明シートを止めるとき |
| *マジック(太・細)12色 | 油性 |
| *消去・修正ペン | 油性の消えるもの |
| *ティッシュペーパー | 修正ペン拭き取り用 |
| *タックタイトル(丸) | 直径1センチ 10色入り |
| | 各グループに全色1枚ずつ |

凡 例

項 目	マーク	項 目	マーク
要援護者	⊙赤	病院 HP	HP 赤
協力員	⊙緑	一時避難場所	□桃
自治会長など	⊙青	町内会の境界	┃紫線
ボランティア関係者	⊙黄	車両通行不可(狭小)	┃赤線
医療関係者	□桃	谷川・河川	┃緑線
防災水槽	◇青	避難経路	┃黒線
消火栓	◇青緑	危険箇所	▣黄緑
消火ホース	◇橙	アマチュア無線	⊙ア 赤
公衆電話	◇紫	空き家	□レ 黒
重機所有あり	◇茶		
井戸	⊙水色		

ボランティア関係者とは、

中学生以上、約40歳以下で災害時に手助け出来る人

いきいきサロン経過

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計数	自治会数	達成率	全自治会数
美馬	6	9	13	5	1	34	36	54.55%	66
脇町	44	2	4	3(-2)		51	67	57.76%	116
穴吹	3	14	13	7	1	38	39	40.21%	97
木屋平	0	5	7	2	1	15	55	100.00%	55
グループ				3		3			
合計	53	30	37	18	3	141	197	58.98%	334

小地域ネットワーク活動経過

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計数	自治会数	達成率	全自治会数
美馬	1	23	13	0	3	40	40	60.61%	66
脇町	25	8	3	16	0	52	52	44.83%	116
穴吹	0	8	31	4	3	46	46	47.42%	97
木屋平	0	0	3	0	0	3	3	5.45%	55
合計	26	39	50	20	6	141	141	42.22%	334

自主防災組織経過

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計数	自治会数	組織率	全自治会数
美馬	30	29	5	1		65	65	98.48%	66
脇町	20	82	5	6	1(-1合併)	113	113	97.41%	116
穴吹	12	65	6	6		89	89	91.75%	97
木屋平	14	0	0	0		14	55	100.00%	55
合計	76	176	16	13	0	281	322	96.41%	334

※ 平成21年11月1日現在

分科会1 平時からのボランティア活動

「災害時要配慮者対策に伴う
自主防災組織立ち上げ事業」

美馬市社会福祉協議会

◇自主防災組織づくりをきっかけとした
“福祉でまちづくり”

★ **自助** .. 自分(家族)の命は
自分(家族)で守る

★ **共助** .. 自分たちの地域は
自分たちで守る

★ **公助** .. 災害時の行政の取り組み

◇経緯

★ 「いきいきサロン」や
「小地域ネットワーク活動」
立ち上げのきっかけづくり

★ 南海地震がやってくる！

★ 「災害図(頭)上訓練」D I G

★ 地域福祉活動計画

★ 市町村合併

◇内容

★ 1)ネットワーク作り
・行政・警察署・消防本部・消防団・民生委員
・福祉委員・ボランティア・社会福祉協議会

★ 2)消防本部との協働が成功の鍵

★ 3)地域のキーパーソン

◇目標

★ **事業目標**

「災害時における自主防災組織の
確立からつなぐ
小地域でのささえあいシステムづくり」

◇自主防災組織立ち上げ説明会開催の様子



◇災害図(頭)上訓練 DIGの様子



◇防災訓練の様子

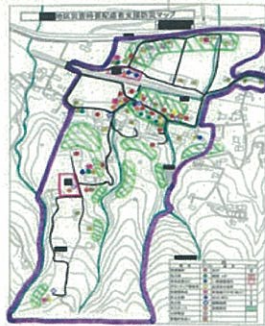


◇災害図(頭)上訓練 DIG

[Disaster(災害)Imagination(想像力)Game(ゲーム)]

凡 例

項 目	マーク	項 目	マーク
避難所	●	病院 HP	HP
協力員	●	一時避難場所	□
自治会員など	●	町内会の境界	—
ボランティア関係者	●	避難経路(赤)	—
区界	●	谷川・河川	—
防災小隊	●	避難経路(青)	—
消防栓	●	危険箇所	■
消防ホース	●	アマチュア無線	—
公民館	●	空家	レ
重要情報あり	●		
井戸	●		



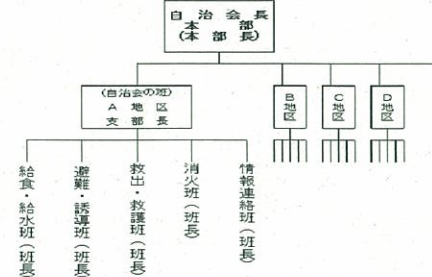
※本ページの図等は、概略図であり、必ずしも正確な位置を示しているものではありません。

◇防災訓練の様子



◇自主防災組織

自主防災組織の構成例
◀BPD



◇目的

- ✦小地域での助け合いシステムづくりとコミュニティの再編
- ✦住民の主体性を引き出す
- ✦地域福祉力を高める

2010/1/21

12

